

育て！こころの芽

「しろやま倶楽部」は地元の三重西幼稚園や三重西小学校と、活動開始当初から絶えることなく連携し、子どもたちと一緒に活動してきました。

七夕には幼稚園と小学校に竹を提供し、一緒に飾りつけをします。

小学校では、3年生、5年生、6年生と活動を共にしています。

3年生では一緒に七輪で火をおこし、もち焼きをします。5年生になると、一学期に教室で、地域の人が『しろやま』と呼ぶ三重城山緑地の歴史や保全活動についてお話を聞き、二学期には『しろやま』で竹伐採体験と、落葉や竹炭を使った焼きいも大会をします。そして6年生では『しろやま』に記念樹を植え、小学校を卒業していきます。



みんなで書いた五色の短冊。笹につるして、願いごとがかないますように!!
(三重西幼稚園)



【植樹】
植えた木に名札をつけるのも子どもたちへの意識付けのひとつ。



座学『しろやま』質疑応答「城跡から財宝は出てきたんですか?」「何にも見つからんだんや。」(三重西小学校)

共に活動して行くうちに、5年生の一学期が終わる頃には、子どもたちに自主性が生まれ、竹伐採体験をする頃には、自分ができる仕事はないかと、進んで探し始めるようになってくるそうです。

小林さん「竹や木を運ぶ大変さを体験しながらも、『しろやま』で見た景色や空気を忘れないでほしい。将来この里山を見て、今の気持ちを思い出してほしい。」
自分で考え行動する気持ちが芽生え、大きく育ってほしいと願うばかりです。



伐採するのは目印の紐がむすんである竹。太い竹でも切り倒せるよ。



まずは自然教室で覚えたのこぎりの使い方を復習。
準備完了。さあ、行こう!



道具を揃えて保全体験に臨む。
作業の説明や注意することをしっかり聞いて、気を引き締める。



しろやま倶楽部と三重西小学生の共同作業。みんなで力を合わせて、よいしょ!よいしょ!
竹を運ぶのは大変だ。助けて助けられてみんなでやりきった竹伐採。



最後は、集めた落ち葉や竹炭も入れて、焼きいも大会。ホクホク!!